

# 小学校統合、3校案に決定

## 父母の要望を重視した通学区域にするのか

教育委員長…町全体の視点で最良の教育環境を



遠藤 宏司 議員



子どもたちの通学風景

第1回臨時会が4月27日におこなわれ、議第39号を除く9議案を全員賛成で可決しました。議第39号「小学校設置場所に関する条例改正案」に、大山二郎議員より修正議案が提出されましたが、反対多数で否決しました。

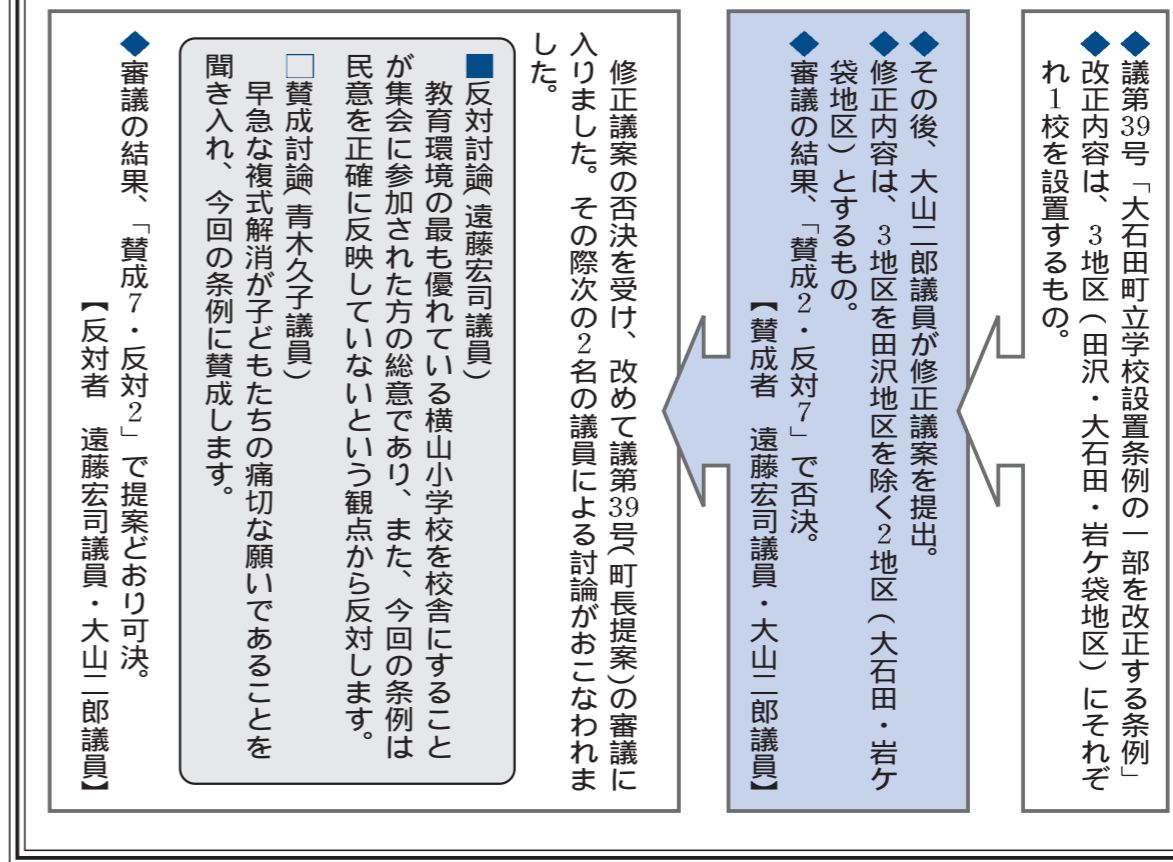
小玉 勇 議員

齋藤公一 議員

- Q** 3校案ですが、1小学校3校舎になるのか、それとも3小学校になるのか。名称はどうする。
- A** 学校設立の準備委員会を立ち上げ、検討する。
- Q** スクールバス利用除外区域はどこ。また、3学区制にするのか。オープンにはどうか。
- A** 利用区域は検討委員会で決定していく。学区は3学区とし、それぞれ独立校とする。学区オープンはしない。
- 遠藤宏司 議員
- Q** 横山地区民は田沢小との統合に合意していない。
- A** 教育委員会より合意を得たと報告を受けた。
- Q** 統廃合の件には地域的・政治的問題が絡む。要望書提出者と直接話しをしてはどうか。
- A** 廃校に対する抵抗や地域感情論になるので、座談会では貴重な意見をいただいた。
- 大山二郎 議員
- Q** 子どもたちに最良の教育環境を作るには、大人の争いを見せずに2校に統合してはどうか。廃校になる5校の維持経費を足せば大小に3教室ができる。
- A** 妥協案的考えを示されたことは評価するが、これまでの経緯を考えれば今から2校案はできない。

## 議第39号審議の流れ

### 3校を2校にする修正議案は否決



### 小学校通学区域は

亀井田地区から大石田小へ越境通学している子どもを亀井田地区の学校にもどすのか。

横山小の父母から大石田小へ通学を望む声が出た場合、亀井田地区同様

に認めるのか。教育委員長 次年子・白鷺地区から大石田小に通学しているが、亀井田地区の小学校に変更することとは考えていない。町全体からの視点で、子どもにとって最良の教育環境を考へており、父母の要望を優先しているわけではない。横山小については、田沢小に統合することで町全体として複式学級が解消することになり、高所にたった判断をお願いする。

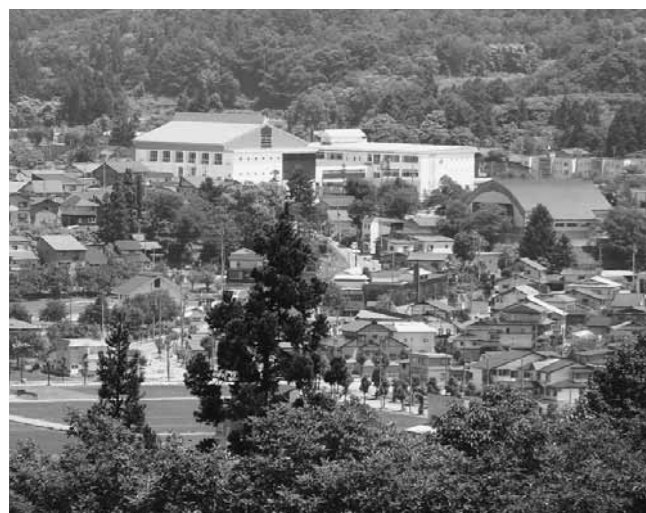
町長 通学区域の設定は規則で決定しているもので、教育委員会の専権事項であり、町長としてできることは何もない。学校設置者として教育委員

### 総合振興計画は

町の規則に基づき施設整備をおこなっていることをご理解ください。

町民との座談会で得た民意をもとに、急激な人口減少のなか、10年後の活力ある町の姿を第6次振興計画で町民に示す自信はあるか。コンサルタン卜任せの計画でなく、大石田町らしい町づくりを目指すべきではないか。

町長 座談会で克雪対策・少子化対策・若者定住対策・雇用の場の確保など提言や多くの意見をいただいた。財政的な整合をはかりながら第6次総合振興計画に反映していく。計画策定全般をコンサルタン卜に委託することなく、町の現状・課題を各担当部署で共通認識して素案を作り、審議会に諮るもので、議員各位においても提案をお願いする。



10年後の大石田町はどのような